

子ども虐待のない社会をめざして

リニューアル進む埼玉県熊谷児童相談所。北部地域の一時保護所不足を改善するとともに、老朽化に対応するため、児童相談所と一時保護所の一体的整備が進んでいる(令和5年度開設予定)。厚生労働省は毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定めている。児童虐待の現状、そして私たちにできることは何だろうか?埼玉県熊谷児童相談所・大木正仁所長に話を聞いた。



埼玉県熊谷児童相談所の完成イメージ



埼玉県熊谷児童相談所 大木正仁所長

Q コロナ禍をきっかけとした生活の変化により、児童虐待や家庭内暴力といったさまざまな問題が起これやすい環境下にあるのではないかと推察します。埼玉県熊谷児童相談所の相談件数はどのように推移していますか?

A コロナの影響で全国的に児童虐待が増えているといわれていますが、熊谷児相管内での虐待相談対応件数はここ数年ほとんど横這いしています。しかし、管内では新型コロナの流行に伴い心理的虐待の割合が増えました。そのほとんどは夫婦喧嘩の目撃です。在宅ワーカーの増加に伴い、家庭内でのいざこざが増えたのでしょうか。去年から今年にかけてはネグレクトが増えています。また、子どもの家も増えました。家庭内でストレスを抱えた子どもが、行動制限の緩和に伴い家出をするケースが多いとも考えられます。

Q 虐待による悲しい事件がメディアに大きく取り上げられるなどのきっかけで、児童虐待の深刻さについて世間の認知は広まっているように感じますが、いかがでしょうか。

A 昔の普通と、今の普通は変わりました。私が子どもの頃は、しつけのために子どもを叩くことはこの

家でも、学校でも当たり前でした。しかし、現在は身体に苦痛や不快感をもたらす行為はどんなに軽いものであっても法律で禁止されています。しつけだと思つてやっている行為が虐待にあたることは、実は少ないのです。こうした虐待は子どもの心身の成長、発達にさまざまな悪影響を与えます。また、虐待のような厳しいしつけを受けて育つと、自分の子に対しても同じように接してしまう「虐待の連鎖」が生じる可能性があります。メディアで悲惨な児童虐待が報じられても、叩き方が悪かったんだ、そこまですることはない、お尻ならいいんだ、など誤った認識で他人事としてとらえてしまうことは危険です。

Q 正しい知識を広めていかなければ、絶対に虐待はなくなりません。まずは知ることが大切です。

Q 児童相談所の役割とは?

A 現状、圧倒的に多いのは児童虐待の対応ですが、本来は子どもに関する全般的な相談の窓口です。児童相談所の起源は戦災孤児への対応にはじまります。非行少年・少女の問題、非行の要因となっている家庭環境の問題、そして、虐待による悲惨な事件が明るみになることが

増え、児童虐待の対応ヘンフトしていきました。時代によって変遷していますが、子どもとそのご家族が幸せに生活できるよう、一緒に考えさせていただく機関です。

Q 移転工事が進む埼玉県熊谷児童相談所。新施設の特徴を教えてください。

A 大きな特徴は、一時保護所が併設されることです。一時保護所を併設する児童相談所は、県所管では現状4箇所しかなく、常にほぼ満員の状態であることが問題になっています。来年熊谷にできる一時保護所は多くの居室を個室にしています。また、学校に通いたいという意思のある子は条件を整えば通学ができるよう配慮したいと考えています。学習指導員が入る学習室や体育館も設備し、保護された子どもたちの安全な居住スペースとして機能します。

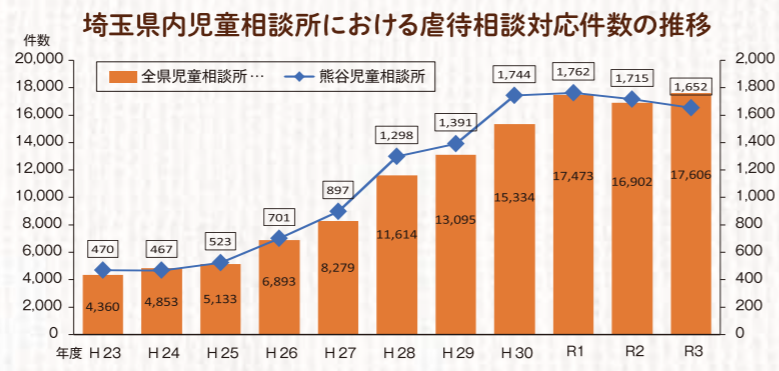
Q 児童虐待を防止するためには、地域が私たちが協力できることはなんでしょうか?

A 皆さんにお願いしたいのは、まずは児童虐待について知っていただくことです。4種類の虐待があり、それぞれが子どもに大きな影響を与えます。身体的虐待は命にかかわる大けがをしようとしてもしれない、ネグレクトは親の監督不十分により事故に

あつてしまいかも…。そして、それらの虐待は子どもに深い傷を残します。児童虐待は子どもと親だけの問題ではなく、社会に大きな影響を与える問題です。虐待された子どもは成長し、また同じことを繰り返してしまつておそれがあります。

子どもを虐待から守るためには、地域の皆さんと関係機関との連携・協力が不可欠です。法律の改正により通報すべき子どもについて「虐待を受けたと思われる児童」に改められました。つまり、虐待を疑った時点で通告をする義務があります。あなたも虐待予防のネットワークの一員です。「子ども、または親の様子がおかしい。もしかして虐待かも?」と感じたら、ためらわずに児童相談所虐待対応ダイヤル「189(いちややく)へ電話してください。

そして、子育て中の方は育児の悩みを抱え込まず、だれかに相談することが大切です。ほとんどの親は虐待をしたくてしているわけではないです。小さなきっかけからついカツとなつて、わかつていても止められなくなつてしまつていく人がほとんどです。「子育てがつらくて、つい子どもにあつてしまふ…」そんな悩みを抱えている方は、子育て相談窓口へ相談ください。



埼玉県内児童相談所における虐待相談対応件数の推移

これらはすべて「体罰」です(身体的虐待)
言葉で注意したが言うことを聞かないので、お尻をたたいた。いたずらをしたので、長時間正座をさせた。宿題をしなかったので、夕飯を与えなかった。掃除をしないので、ぞうきんを顔に押し付けた。※道に飛び出しそうな子どもの手を掴むといった子どもを保護するための行為は該当しません。

子供の心を傷つける行為です(心理的虐待)
冗談のつもりで「お前なんか生まれてこなければよかった」など、子どもの存在を否定するようなことを言った。やる気を出させる口実で、きょうだいを引き合いにしてけなした。

児童虐待の種類

①身体的虐待 ● 殴る、蹴るなどの暴力、車に閉じ込めるなど	②心理的虐待 ● 子どもの前で家族に暴力を振るう、子供をからかう、侮辱する、無視するなど	③性的虐待 ● 子どもへの性的行為、性行為を見せるなど	④ネグレクト ● 食事を与えない、入浴をさせない、病院に連れて行かない、車の中に放置するなど
---	--	---------------------------------------	--

虐待通告窓口 児童相談所虐待対応ダイヤル 189 24時間・365日・通話料無料 電話をかけた近くの児童相談所につながる	埼玉県虐待通報ダイヤル #7171 24時間・365日 内容を相談員が伺い、責任をもって対応できる機関につながる	埼玉県の子育て相談窓口 電話相談「子どもスマイルネット」 048-822-7007 毎日午前10時30分～午後6時(祝日・12月29日～1月3日を除く)	親子子どもの悩みごと相談@埼玉 月曜～金曜午前9時～午後9時 土・日曜、祝日午前9時～午後5時(12月29日～1月3日を除く)
---	--	--	---

くまがやオレンジハートの会
会長 杉田茂実さんと会員さんに
2022年の活動をお聞きました

Q 今年は活動12年目を迎えます。そして、「2022くまがやオレンジリボンツアー」とし、啓発マスクとチラシの配布を、熊谷市内8箇所ですべて3千枚配布したいと考えています。最終日には、熊谷児童相談所の大木正仁所長に「虐待の現状と来年開設される児童相談所」のお話などを伺いたいと思います。各所でオレンジリボンのTシャツを着た私たちを見たら、応援下さいね!!

2022 くまがやオレンジリボンツアー (予定は多少変更になることもあります)

月日	時間	場所	行事等
10/27	10:00	スポーツ文化公園第3多目的広場	くまSUNフェスタ
10/30	11:00	江南ピビア前駐車場	こうなん祭
11/3	12:00	八木橋百貨店→星川	熊谷えびす大商業祭
11/5	11:00	江南ホテルヘリテイジ	ヘリテイジリゾート鉄道まつり チャギントンがやってくる
11/12	15:30頃 16:30	文化センター文化会館前 熊谷駅コンコース	フォーラムくまがや オレンジリボンマスク配り
11/19	13:30 16:30	スポーツ文化公園 八木橋百貨店	産業祭会場 オレンジリボンマスク配り
11/30	14:00	くまびあ	児相大木所長講演 近年の虐待と来年開設される児童相談所の話

くまがやオレンジハートの会
10周年記念
オリジナルソング
ずっと笑っていて
500円
発売中!!
お問合せ
くまがやオレンジハートの会
杉田:090-3211-6225
植竹:090-3236-9590



子ども虐待防止 オレンジリボン運動